

会 議 録

会議の名称	第18回入間市地域福祉計画策定委員会																		
開催日時	平成20年7月27日（日）午前9時30分～午前11時20分																		
開催場所	入間市市民活動センター 活動室1																		
出席委員	<table border="0"> <tr> <td>黒澤 俊明 委員長</td> <td>栗原 正明 委員</td> </tr> <tr> <td>堀 夫紗子 副委員長</td> <td>石川 忠雄 委員</td> </tr> <tr> <td>茂木 勇夫 委員</td> <td>山下 恵久子 委員</td> </tr> <tr> <td>當摩 英子 委員</td> <td>杉山 若江 委員</td> </tr> <tr> <td>春名 恭一 委員</td> <td>岩崎 佳子 委員</td> </tr> <tr> <td>橘 裕子 委員</td> <td>酒井 勲雄 委員</td> </tr> <tr> <td>松井 幸子 委員</td> <td>田中 萬吉 委員</td> </tr> <tr> <td>野村 秀夫 委員</td> <td>柏木 久司 委員</td> </tr> <tr> <td>永田 雅良 委員</td> <td></td> </tr> </table>	黒澤 俊明 委員長	栗原 正明 委員	堀 夫紗子 副委員長	石川 忠雄 委員	茂木 勇夫 委員	山下 恵久子 委員	當摩 英子 委員	杉山 若江 委員	春名 恭一 委員	岩崎 佳子 委員	橘 裕子 委員	酒井 勲雄 委員	松井 幸子 委員	田中 萬吉 委員	野村 秀夫 委員	柏木 久司 委員	永田 雅良 委員	
黒澤 俊明 委員長	栗原 正明 委員																		
堀 夫紗子 副委員長	石川 忠雄 委員																		
茂木 勇夫 委員	山下 恵久子 委員																		
當摩 英子 委員	杉山 若江 委員																		
春名 恭一 委員	岩崎 佳子 委員																		
橘 裕子 委員	酒井 勲雄 委員																		
松井 幸子 委員	田中 萬吉 委員																		
野村 秀夫 委員	柏木 久司 委員																		
永田 雅良 委員																			
欠席委員	上山 欣子 委員																		
説明者氏名	福祉部坂本副参事																		
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 議事録署名人の選任について</li> <li>3 事務連絡及び会議資料の説明</li> <li>4 報告事項     計画素案の概要説明について</li> <li>5 協議事項     (1) 将来像について     (2) 自助・共助・公助の関連について     (3) 施策の大綱について     (4) 全般を通して</li> <li>6 その他     今年度のセミナーの日程について</li> <li>7 閉 会</li> </ol>																		
事務局職員氏名	<table border="0"> <tr> <td>福祉部副参事</td> <td>坂本 有司</td> </tr> <tr> <td>生活福祉課庶務担当主幹</td> <td>國田 清男</td> </tr> <tr> <td>社会福祉協議会主幹</td> <td>山崎 町子</td> </tr> <tr> <td>生活福祉課庶務担当副主幹</td> <td>晝間 晴美</td> </tr> </table>	福祉部副参事	坂本 有司	生活福祉課庶務担当主幹	國田 清男	社会福祉協議会主幹	山崎 町子	生活福祉課庶務担当副主幹	晝間 晴美										
福祉部副参事	坂本 有司																		
生活福祉課庶務担当主幹	國田 清男																		
社会福祉協議会主幹	山崎 町子																		
生活福祉課庶務担当副主幹	晝間 晴美																		
傍聴者数	0名																		

発言者	発言内容
	第18回会議の議事録署名人は、黒澤委員長と當摩委員となりました。
	<b>報 告 事 項</b>
坂本副参事	事前に郵送配布した計画素案の概要について説明がありました。
黒澤委員長	編集委員の方から付け足すことはありますか。
編集委員	特になし。
	<b>協 議 事 項</b>
	(1) 将来像について
坂本副参事	素案P11の将来像について説明がありました。また、堀副委員長と岩崎委員から代案が提示されていることについて報告がありました。特に、将来像のメインテーマについて、行政サイドとしては提示した内容で了解を得たいと思っていると説明がありました。
委員説明	将来像の私案について、それぞれ説明がありました。
黒澤委員長	将来像については、事務局から提示されている内容でよろしいでしょうか。
岩崎委員	「昔あった隣組、悪いことは叱ってくれた近所の人」という言葉が、しっくりこないのですが。昔は良かったといわれても、若い人には受け入れられないのではないのでしょうか。世代を超えて受け入れられる分かりやすい言葉にしたほうが良いと思います。例えば、今の若い人は、なんでもお金で買えると思っていますが、「お金で買えないものもあるんだ」というようなことも一例として挙げられます。
松井委員	表現に前向きな姿勢が感じられないと思います。今も昔も変わらない、人間の尊さや優しさを表現した方が良いと思いますが。
栗原委員	皆さん、目指すところは同じだと思います。「昔はこんなことがあった」という意味の記述は、あってもいいのではないかと思います。ただ、「昔はよかった」というニュアンスになると問題があると思います。それと、「自然に帰る」の自然という言葉が、自然体という意味に近いものとして解釈してもらえるか、この点を皆さんで協議していただく必要があると思います。
岩崎委員	「自然」を「しぜん」と平仮名で表記したらいかがでしょうか。
坂本副参事	「昔あった隣組・・・」については、この策定委員会の当初の会議で、石川委員からコメントがあった内容を出典としました。なるべくこの会議で発言があった意見を取り入れたいという思いから採用しました。また、将来像というのは、ある面ではポエムの要素を持っていなければならないと思い、「自然に帰る」という表現にしました。
杉山委員	昔といっても、その人の年齢によっても異なってきます。また、若い人からすると、何を言っているのかわからない部分もあります。もう少し、具体的な表現のほうが良いと思います。

発言者	発言内容
坂本副参事	「昔あった隣組・・・」からの三行が問題になっていますので、次回までに検討し再提出します。ただ、メインのテーマについては、これでお願ひしたいと思ひます。
春名委員	メインテーマについては意見もありますが、行政サイドで決めているということであればこれ以上議論しても意味がないのではないのでしょうか。
野村委員	メインテーマについては、事務局の推敲の跡が伺えます。これでいいのではないのでしょうか。
栗原委員	委員の方からいろいろご意見が出ていますから、次回検討したものを出していただければいいのではないのでしょうか。
茂木委員	それでよろしいと思ひますが。
黒澤委員長	将来像については、三行を訂正したうえで、原案のとおりでよろしいのでしょうか。
各委員	異議なし。
	<b>(2) 自助・共助・公助の関連について</b>
坂本副参事	素案P2、P14、P17の図の関連で、自助・共助・公助の円の中心にはどのような言葉が入ってくるのか、この点について説明がありました。原案では、社会福祉法第3条を根拠として「尊厳と自立」にしましたが、他に良い案があれば変更は可能であること、協働という言葉が多く使われる傾向にあることなど、追加説明がありました。
堀副委員長	尊厳と自立は精神的な部分であり、協働は手法だと思ひます。どちらも削るわけにはいかないと思ひます。
栗原委員	協働という言葉は、私たちが学校に通っていた頃にはなかった新しい言葉です。新しい言葉であることを説明する必要があるのではないのでしょうか。
松井委員	尊厳と自立は、一人の人間の有り様を表現しています。平面的ではなく円錐的な図にさせていただくと説得力が出てくると思ひます。
岩崎委員	尊厳と自立は大切なことだと思ひます。「共生」という言葉もいいのではないのでしょうか。
柏木委員	自助といわれますが、誰もが持っているものです。あえて取り上げる必要があるのでしょうか。なんか違和感を感じます。
橘委員	今、自分自身を大切にすることが失われてきているような気がします。自助・共助・公助があつて、中心に尊厳と自立がある形が福祉の究極であると思ひます。
杉山委員	P17の図はを円錐形にして、頂点に尊厳と自立がある形が理想だと思ひます。
春名委員	尊厳と自立は重要なことだと思ひます。私自身も長方形にしたり、協働や住民を入れた図のイメージを描いていますが、原案のとおりで良いと思ひます。
黒澤委員長	P17の図を円錐形にして、その他は原案のとおりでよろしいのでしょうか。
各委員	異議なし。
	<b>(3) 施策の大綱について</b>
坂本副参事	素案の第3編第1章から第3章のテーマ名について、下記のどちらにするか協議依頼がありました。

発言者	発言内容
	第1章
	安心して暮らせる福祉サービスをめざそう
	地域で信頼される福祉サービスをめざそう
	第2章
	一人ひとりのふれあいを大切にしよう
	コミュニティや連携を大切にしよう
	第3章
	みんなで福祉を支える地域をつくろう
	福祉を支え担う人をふやしていこう
	意見発表の後、挙手により採決し、全て前者を採用することになりました。
	<b>(4) 全般を通して</b>
栗原委員	「住み慣れた」という表現がありますが、入間市に住み続けていない人、住んで間もない人もいます。この表現でよいのでしょうか。
複数委員	これは、慣用句、枕詞として良いと思います。
春名委員	P5やP6などに、「……として策定しました」という表現がありますが、一箇所ですべてまとめて表記したほうが良いのではないかと思います。
坂本副参事	計画書の冒頭には、市長と委員長のあいさつ文を掲載します。計画策定の背景については、そのあいさつ文の中で触れるつもりです。ですから、今お渡ししている原案も変更するようになると思います。
	<b>そ の 他</b>
	平成20年度の地域福祉セミナーについては、11月30日(日)、健康福祉センターで行うことになりました。
	堀副委員長のあいさつで閉会しました。
	平成 年 月 日
	議事録署名人      委員長
	委 員